

TOMORI Manga Studio 操作マニュアル

初めて使う人が、記事や脚本からWEB漫画・Instagramカルーセル漫画を完成させるまで

TOMORI Manga Studio（以下「アプリ」）は、記事・文章・脚本をもとに漫画の構成を作り、画像生成AI用の指示を作成し、生成した画像を取り込み、吹き出しやナレーションを合成してPNGやZIPとして書き出すための制作アプリです。

外部APIを直接利用せず、文章や画像の編集処理は基本的にブラウザ内で行います。画像生成そのものはChatGPT、Geminiなどの画像生成サービスを別途利用します。

このマニュアルでは、最初から順番に操作すれば、途中で迷わず作品を完成できる流れを説明します。

1. 最初に理解しておきたい制作の流れ

基本の流れは次のようになります。

記事・文章

- 漫画脚本を作る
- 脚本からJSONを作る
- JSONを読み込む
- キャラクターを設定する
- ページ・コマ構成を確認する
- 画像生成AI用の指示を作る
- 生成画像を取り込む
- セリフ・ナレーションを合成する
- 出力前チェック
- PNGまたはZIPを書き出す

すでに漫画脚本を持っている場合は「記事→脚本」を飛ばしてSTEP 01から始められます。

すでにアプリ用JSONを持っている場合はSTEP 02から始められます。

2. まず出力形式を決める

このアプリでは主に次の2形式を扱えます。

用途	設定	出力サイズ
Instagramカラーセル漫画	Instagram 4:5	1080×1350p x
WEB・スマホ漫画	スマホ 9:16	1080×1920p x

Instagram投稿を前提にする場合は **4:5**、WEBサイトやスマートフォンで縦長漫画として見せたい場合は **9:16** が基本です。

途中から変更することもできますが、画像生成後に比率を変更すると画像を作り直す必要が出てくる場合があります。

最初に出力形式を決めてから制作を進めるのがおすすめです。

3. 新しい作品を始める

画面上部には次の操作があります。

新規

現在の編集内容を消去して、新しい作品を作成します。

複製

現在の作品をコピーして別作品として編集します。

読込

以前保存したProject JSONを読み込みます。

保存

現在の作品をProject JSONとして保存します。

自動保存について

文章や設定などはブラウザへ自動保存されます。

ただし、重要な点があります。

画像はブラウザの自動保存対象から除外されています。

キャラクター参照画像や生成済みページ画像を含めて確実に残したい場合は、画面上部の「保存」を押してProject JSONを書き出してください。

制作途中でも、次のタイミングでは手動保存をおすすめします。

- キャラクター参照画像を登録した後
- ページ画像を何枚か取り込んだ後
- 大きくコマ構成を変更した後
- 作業を終了する前

4. 記事や文章から始める場合

画面左側または上部の「記事→脚本」を開きます。

note、ブログ記事、コラム、解説文などを漫画化するときに使用します。

4-1. 原文を貼り付ける

「記事・文章本文」へ漫画化したい文章を貼り付けます。

記事タイトルがある場合はタイトル欄にも入力します。

Markdown、URL、広告文などが混ざっていても構いません。漫画脚本生成指示では、本文に不要な要素を除外するようAIへ指示されます。

5. 漫画化設定を決める

ここは初見のユーザーが迷いやすい部分です。

重要なのは、最初から完璧な漫画構成を自分で考える必要はないということです。

アプリが作成する指示書では、AIに対して、

- 記事の中心テーマ
- 主人公の認識の変化

- 対話形式が向いているか
- 体験再現が向いているか
- 図解や比喩が必要か

などを判断させます。

ページ数・スライド数

「10枚程度」などを指定しても、これは目標数です。

原文の重要部分を削ってまで枚数を合わせる設計ではありません。

表紙

Instagramカルーセルでは表紙を使うことが多いですが、WEB漫画では必須ではありません。

「本編から始める」を選んだ場合、後の出力前チェックでも表紙がないこと自体はエラーになりません。

6. 漫画脚本生成指示書を作る

設定が終わったら、

「漫画脚本生成指示書を作成」

を押します。

下にAIへ渡す長い指示書が表示されます。

「指示書をコピー」 を押し、ChatGPTやGeminiなどへ貼り付けます。

ここでAIへ依頼するのは画像ではありません。

この段階では、

記事 → 漫画脚本

への変換を行います。

7. AIから返ってきた漫画脚本を取り込む

AIが返した文章を、

「生成された漫画脚本」

へそのまま貼り付けます。

その後、

「脚本としてSTEP 01へ取り込む」

を押します。

正常に取り込まれるとSTEP 01へ移動します。

8. STEP 01 — 脚本からJSONを作る

STEP 01では、漫画脚本をアプリ内部で扱えるデータ形式へ変換します。

ここで直接JSONを書く必要はありません。

8-1. JSONファイル名

「AIに生成させるJSONファイル名」に任意の名前を入力します。

例：

AI下書き係.json

.jsonを省略した場合は自動で付与されます。

8-2. 脚本を確認する

「脚本」欄に漫画脚本が入っていることを確認します。

必要であればここで手作業で修正して構いません。

特に確認したいのは、

- ページ順
- シーン順
- セリフ
- 登場人物
- 推奨コマ数
- 表紙の有無

です。

9. JSON生成指示書を作る

「JSON生成指示書を作成」

を押します。

表示された指示書をコピーし、AIへ渡します。

このときAIには、

- キャラクター
- コマ
- ページ
- セリフ
- ナレーション
- 画像生成用英語プロンプト
- ページレイアウト

などを含むJSONを作成させます。

AIがファイル生成に対応していればJSONファイルが返ってきます。

ファイルではなくJSON本文が返ってきても問題ありません。

10. STEP 02 — JSONを取り込む

AIからJSONファイルが返ってきた場合は、

「JSONファイルをドロップ」

へファイルを入れます。

JSON本文だけ返ってきた場合は、

「JSONを貼り付け」

へ全文を貼り付けます。

その後、

「検証して取り込む」

を押します。

11. JSON取込でエラーが出た場合

ここも止まりやすいポイントです。

最も多い原因は、AIの説明文まで一緒に貼り付けているケースです。

JSON本文を貼り付ける場合は、最初の文字が基本的に

{

で始まっている必要があります。

例えば、

「以下がJSONです。」

などの文章が先頭にある場合は削除してください。

Markdownの

```json

なども基本的には不要です。

アプリ側で一部は除去できますが、JSONだけを貼り付けるのが最も確実です。

## 12. STEP 03 — キャラクター設定

JSONを読み込んだらキャラクターを確認します。

キャラクターごとに、

- 名前
- 年齢
- 性別
- 髪
- 目
- 服装
- 説明
- 画像生成用プロンプト

などを設定できます。

原作で外見が決まっていない人物は、無理に細かく設定する必要はありません。

## 13. キャラクター参照画像を登録する

同じ人物を複数ページで安定して描きたい場合、参照画像の登録は非常に重要です。

キャラクター設定内の

「参照画像を追加」

からPNG、JPEG、WebPを登録できます。

複数画像を登録できます。

分類として、

- 設定画
- 表情
- 衣装
- その他

などを使い分けられます。

## 何枚登録すればいい？

目安は **1〜5枚** です。

最初は、

1. 正面または基本設定画
2. 顔が分かる画像
3. 全身または衣装が分かる画像

程度でも十分です。

## 重要

参照画像はSTEP 01でAIにJSONを作らせる段階では登録しません。

JSONでは `referenceImages: [ ]` のままにしておき、アプリへ読み込んだ後で追加するのが基本です。

## 14. STEP 04 — 絵コンテとコマ

ここが作品の設計の中心です。

各ページについて、

- コマ数
- ページ
- 場面説明

- 画像生成用プロンプト
- 登場人物
- セリフ
- ナレーション
- コマの構図

を確認します。

## 15. 出力形式を確認する

STEP 04上部の「制作設定」で、

**Instagram 4:5**

または

**スマホ 9:16**

を選びます。

WEB漫画として制作する場合は、一般的には **スマホ9:16** が使いやすいです。

Instagramカルーセル投稿にするなら **4:5** を選びます。

## 16. セリフを誰に描かせるか決める

「セリフ生成」には主に次の選択があります。

**アプリで吹き出し・セリフを合成**

画像生成AIには絵だけ描かせ、後からアプリ側で文字を載せます。

**最も安定する方法です。**

日本語の誤字を避けたい場合はこちらをおすすめします。

**画像AIで同時生成**

画像生成AIへ、

「このセリフを漫画内へ正確に描いてください」

と指示します。

見た目は自然になりやすい一方、日本語文字が崩れる可能性があります。

## 画像のみ

吹き出しを付けず画像だけ作ります。

# 17. ナレーションの扱い

ナレーションも別に設定できます。

アプリで画像上にナレーションを合成

を選ぶと、生成後の画像に文字を追加します。

セリフとナレーションは文字サイズを別々に設定できます。

標準値は、

- セリフ：36px
- ナレーション：32px

です。

# 18. コマ数を変更するときの注意

1ページには 1〜5コマ 配置できます。

コマ数を変更すると、後続ページへコマが繰り越される場合があります。

そのため、コマ数を変更した後は必ず、

次のページも確認してください。

「このページだけ直したつもりだったのに後ろのページが変わった」

という混乱を防げます。

## 19. 文字量警告が出た場合

アプリは単純な文字数だけでなく、

- コマの面積
- セリフ量
- 吹き出し数
- 文字サイズ

などから文字密度を確認します。

警告が出ても必ず修正しなければならないわけではありません。

ただし、

### 小さいコマに長いセリフ

がある場合は読みづらくなる可能性が高いです。

対処方法としては、

- セリフを短くする
- 1つのセリフを2コマに分ける
- コマを大きくする
- 5コマページを4コマへ減らす
- ナレーションへ一部移す

などがあります。

## 20. キャラクター整合性の警告

アプリは、

- activeChars
- セリフの話者
- 場面説明
- 画像生成用プロンプト

の内容を照合します。

例えば、

セリフでは「聞き手」が話しているのに、そのコマの登場人物に「聞き手」が設定されていない場合、

確認警告が出ることがあります。

これは自動修正ではなく、**確認を促す警告**です。

画像生成時に人物が欠落する原因になるため、可能であれば修正してください。

## 21. STEP 06 — 画像生成AI用の指示を作る

画像をまだ作っていない場合はSTEP 06を開きます。

ここでは各ページを丸ごと画像生成AIへ渡すための指示を作ります。

重要なのは、

**1コマずつ生成するのではなく、1ページ全体を1枚の画像として生成する**

という考え方です。

例えば4コマページなら、

「4つのコマを含む完成漫画ページを1枚作る」

という指示になります。

## 22. 共通画風プロンプト

「共通画風プロンプト」には作品全体の画風を入れます。

例：

manga style, clean lineart, warm editorial atmosphere

作品全体で同じ値を使うと、ページごとの雰囲気が揃いやすくなります。

## 23. ネガティブプロンプト

描いてほしくない要素を指定します。

例：

watermark, malformed hands, unreadable text

特別な理由がなければ初期設定のままでも構いません。

## 24. 使用する画像生成AIを選ぶ

生成AI欄から、

- ChatGPT
- Gemini
- Claude

などを選択します。

選択内容に応じて指示書が生成されます。

## 25. 1ページずつ画像生成する

初めて使う場合は、

「指定ページ/スライド」

をおすすめします。

対象ページを選び、

「AI用指示を表示」

を押します。

そのページ用の完全な生成指示が表示されます。

指示には、

- 全体サイズ
- アスペクト比
- コマ数
- コマ順
- 各コマの場面
- 登場人物
- セリフ
- ナレーション
- 画風

などが含まれます。

## 26. 最重要 — 画像サイズを画像生成サービス側でも設定する

ここは特に重要です。

指示書に

**4:5**

と書かれていても、画像生成サービス側のキャンバス設定が1:1になっていると、正方形画像が生成される場合があります。

そのため画像生成サービスに、

**アスペクト比**

または

## 画像サイズ

の選択項目がある場合は、必ず一致させてください。

Instagramの場合：

**4:5**

目標：

**1080×1350**

WEB・スマホ漫画の場合：

**9:16**

目標：

**1080×1920**

「プロンプトに4:5と書いてあるから大丈夫」と考えず、生成サービス側の比率設定も確認することが重要です。

## 27. 生成画像をそのままページへ取り込む

STEP 06では、生成したページ画像を同じ画面から対象ページへ取り込めます。

画像生成が終わったら、

「生成画像をこのページへ取り込む」

を使用します。

これにより、

指示コピー

→ 外部AIで生成

→ 同じページへ画像取込

→ 次ページ

という流れで作業できます。

STEP 05とSTEP 06を何度も往復する必要はありません。

## 28. 画像を取り込むと自動チェックが行われる

ページ画像を読み込むと、アプリが実際の画像サイズを調べます。

例えば、

**1254×1254**

なら、

**1:1 正方形**

と判断できます。

設定が4:5の場合は比率不一致として警告されます。

## 29. 「比率要確認」と表示されたら

そのまま完成扱いにしないでください。

例えば設定が4:5なのに1:1画像を読み込むと、最終出力時に画像の一部がクロップされる可能性があります。

推奨対応は、

**画像生成AI側で4:5に設定して再生成する**

ことです。

クロップしても問題ない構図の場合のみ、そのまま使うことを検討してください。

## 30. 「余白を確認」と表示されたら

アプリは画像の外周を解析し、

- 白い帯

- 黒い帯
- 単色の余白
- レターボックス

の可能性がある場合に警告します。

ただしこれは完全な判定ではありません。

例えば漫画表現として意図的に白背景を使ったページでも検出される場合があります。

そのため、

**警告＝エラーではありません。**

画像を目視して、

「正方形キャンバスの中に4:5画像が入っている」

ような状態でないか確認してください。

## 31. STEP 05 — ページ合成

画像が揃ってきたらSTEP 05を開きます。

ここでは、

- ページ画像
- コマ画像
- 吹き出し
- セリフ
- ナレーション
- 表紙タイトル

などを最終的に合成します。

## 32. ページ画像とコマ画像の違い

制作方法は大きく2種類あります。

## ページ画像を使う方法

画像AIに完成した1ページ全体を生成させます。

現在はこちらを推奨します。

ページ全体の画面構成が自然になりやすいためです。

## コマ画像を個別に使う方法

各コマへ別々の画像を設定し、アプリ側でコマ枠へ配置します。

細かく差し替えたい場合には便利です。

# 33. 表紙を設定する場合

「このスライドを表紙にする」にチェックします。

すると、

- 表紙タイトル
- サブタイトル
- タイトル生成方式
- 表紙デザイン
- タイトル位置
- タイトルサイズ
- 文字スタイル
- 配置
- 背景補助

などを設定できます。

# 34. 表紙タイトルの生成方式

ここも迷いやすい部分です。

## 作品設定を使用

基本設定に従います。

迷った場合はこちらで構いません。

## アプリで合成

画像AIには背景や人物だけを描かせます。

タイトルは後からアプリが載せます。

日本語タイトルを確実に表示したい場合におすすめです。

## 画像AIで同時生成

表紙画像の中へタイトルも描かせます。

デザインとしては自然になりやすい反面、日本語が崩れる可能性があります。

# 35. セーフエリア

「セーフエリアを表示」をONにすると、重要な文字や人物を置く安全範囲を確認できます。

セーフエリア線は、

プレビュー専用

です。

PNGには出力されません。

タイトル、吹き出し、顔などが端に寄りすぎていないか確認するときに使用します。

# 36. ページ完成ステータス

各ページには制作状況があります。

### 未生成

画像がまだありません。

### 画像あり

ページ画像またはコマ画像があります。

### テキスト確認済み

セリフやナレーションを確認済みです。

### 完成

そのページの作業を終えた状態です。

このステータスは制作進行管理用です。

画像を差し替えると、以前の確認状態は自動的にリセットされます。

これは、

「旧画像では確認済みだったのに、新しい画像でも完成扱いになってしまう」

事故を防ぐためです。

## 37. テキスト確認済みは何を見ればいい？

少なくとも次を確認してください。

- セリフの誤字
- ナレーションの誤字
- 話者が正しいか
- 吹き出し位置
- 顔を吹き出しが隠していないか
- コマ順に自然に読めるか
- 文字量が多すぎないか

問題がなければ「テキスト確認済み」に進めます。

## 38. 「完成」にするタイミング

次の状態になったら完成にして構いません。

- 画像が確定した
- 比率を確認した
- 文字を確認した
- コマ順を確認した
- 表紙が必要なら完成した
- プレビューで問題がない

「完成」は必須ではありませんが、10ページ以上の作品では非常に便利です。

## 39. ページ一覧で全体を見る

STEP 05にはページサムネイルがあります。

「一覧を拡大」

を使うと、全ページを俯瞰できます。

長いWEB漫画では特に有効です。

確認したいポイントは、

- 同じ構図が連続していないか
- 同じ人物の顔だけが続いているか
- 明るさや色がページごとに極端に違うか
- 盛り上がりが視覚的に伝わるか
- 未完成ページが残っていないか

です。

## 40. 出力前チェック

作品を書き出す前に、

「出力前チェック」

を押してください。

アプリが以下を確認します。

- 出力比率
- ページ数
- 表紙
- 未配置画像
- ページ画像の比率
- 正方形画像
- 外周余白
- 画像確認状態
- 文字密度
- キャラクター整合性
- 完成ステータス

## 41. エラー・注意・OKの違い

エラー

基本的には修正をおすすめします。

例：

4:5作品に1:1画像が入っている。

注意

必ずしも問題ではありません。

目視確認してください。

例：

単色余白の可能性がある。

**OK**

自動チェック上は問題ありません。

ただし、最終的には必ず人間の目でも確認してください。

## 42. PNGを書き出す

現在表示しているページだけを書き出す場合は、

「**4:5 PNG保存**」

または9:16設定時の対応ボタンを使用します。

アプリ側で文字を合成する設定の場合、

- 吹き出し
- セリフ
- ナレーション
- 表紙タイトル

もPNGへ描画されます。

## 43. 全ページをまとめて保存する

作品が完成したら、

「**全スライド ZIP保存**」

または

「全ページ ZIP保存」

を使用します。

ZIP内にはページごとのPNGが入ります。

さらに出力前チェック内容をまとめたテキストファイルも含まれます。

WEB漫画制作なら、ZIPを展開してページ順に画像をWEBサイトへ配置できます。

## 44. WEB漫画として公開する場合

9:16で出力したPNGを、WEBページへ縦方向に並べれば基本的なスマホ漫画として公開できます。

一般的には、

Page 1

↓

Page 2

↓

Page 3

↓

Page 4

という順番で配置します。

ページ間の余白は、サイト側で調整してください。

漫画画像そのものへ大きな余白を入れるより、WEB側のCSSで余白を作る方が後から変更しやすくなります。

## 45. Instagramカルーセルとして公開する場合

4:5で作成した画像を、スライド番号順に投稿します。

例：

slide-01.png

slide-02.png

slide-03.png

表紙を使う場合は1枚目へ配置します。

アプリの「出力前チェック」で、4:5やページ数を確認してから投稿してください。

## 46. Project JSONとAI用JSONを混同しない

非常に重要です。

このアプリには性質の違うJSONがあります。

### AIに作らせる取込用JSON

STEP 01 → STEP 02で使します。

漫画構成をアプリへ渡すためのJSONです。

### 画面上部の「保存」で作るProject JSON

現在の制作状態を丸ごと保存するファイルです。

キャラクター設定や画像なども含めて後から作業を再開するために使います。

制作途中のバックアップとして残すべきなのは、

### Project JSON

です。

## 47. 作業を途中で終了するとき

安全な終了手順は次の通りです。

1. すべての入力内容が反映されていることを確認
2. 画面上部の「保存」を押す
3. `.tomori.json` ファイルを保存
4. 必要なら生成画像も元ファイルとして保管
5. ブラウザを閉じる

次回は、

「読込」

からProject JSONを読み込めば再開できます。

## 48. 別案を作りたい場合

現在の作品を残したまま別バージョンを作るなら、

「複製」

を使います。

例えば、

- 4:5版から9:16版を作る
- 表紙案を変更する
- セリフを短くした版を作る
- 色調違いを作る

といった場合に便利です。

複製後はタイトル末尾に「コピー」が付きます。

## 49. 初めての人におすすめの最短手順

迷ったら、まずこの手順だけ覚えてください。

1. 記事を貼る
2. 漫画脚本生成指示書を作る
3. AIへ渡す
4. 返ってきた脚本を取り込む
5. STEP 01でJSON生成指示書を作る

6. AIへ渡す
7. JSONをSTEP 02へ取り込む
8. STEP 03でキャラクター参照画像を設定
9. STEP 04でページとセリフを確認
10. セリフ生成は「アプリで合成」にする
11. STEP 06で1ページ目のAI指示をコピー
12. 画像AI側も4:5または9:16へ設定
13. ページ画像を生成
14. 同じページへ画像を取り込む
15. 比率警告がないか確認
16. 次ページを生成
17. 全ページ終わったらSTEP 05へ
18. セリフ・ナレーションを確認
19. 「出力前チェック」
20. 全ページをZIP保存

初回はこの方法が最も失敗しにくいです。

## 50. 初心者向けの推奨設定

初作品なら、次の設定がおすすめです。

### 画像表現

フルカラー

### セリフ生成

アプリで吹き出し・セリフを合成

ナレーション

アプリで画像上にナレーションを合成

セリフ文字サイズ

36px

ナレーション文字サイズ

32px

ページ生成方法

1ページずつ

表紙タイトル

アプリで合成

セーフエリア

表示ON

日本語文字を画像AIへ任せる部分を減らすことで、最初の作品はかなり安定します。

## 51. よくあるトラブル

画像が正方形になった

原因の多くは画像生成サービス側のアスペクト比設定です。

プロンプトだけでなく、

**4:5または9:16**を生成サービス側でも選択してください。

生成画像の日本語が壊れる

セリフ生成を、

「アプリで吹き出し・セリフを合成」

へ変更してください。

画像AIには文字を描かせず、人物と背景だけ作らせる方法が安定します。

キャラクターの顔がページごとに変わる

キャラクター参照画像を登録してください。

また、STEP 04で登場人物設定を確認してください。

## JSONが読み込めない

AIの説明文を削除し、

{

から始まるJSONだけを取り込んでください。

## ページ画像を取り込んだら一部が切れた

画像の比率が作品設定と一致していない可能性があります。

4:5作品なら4:5画像、9:16作品なら9:16画像を使うのが基本です。

## 「余白を確認」と表示される

自動検出なので誤検出もあります。

外周に白帯や黒帯が本当に入っていないか目視してください。

## 出力前チェックで文字密度が高いと出る

小さいコマにセリフが集中しています。

文章を削るだけでなく、

## ページ構成そのものを分割する

ことも検討してください。

## 作業内容が消えた

文章設定は自動保存されますが、画像は自動保存対象外です。

画像を取り込んだ後はProject JSONを手動保存してください。

## 52. 完成したと判断する基準

最後に、次をすべて確認してください。

- 全ページに必要な画像がある
- 4:5または9:16の比率が合っている
- 正方形画像が混ざっていない
- 不自然な外周余白がない
- キャラクターがページごとに大きく変わっていない
- セリフの誤字がない
- ナレーションの誤字がない
- 吹き出しが顔を隠していない
- 文字量が多すぎない
- ページ順が正しい
- 表紙の有無が意図どおり
- 全ページを目視確認した
- Project JSONを保存した
- 最終PNGまたはZIPを書き出した

ここまで確認できれば、作品制作は完了です。

### おすすめの考え方

このアプリは、AIに作品制作を丸ごと任せるためのものではなく、

「構成」「画像生成」「文字」「最終確認」を分けて管理する制作環境

として使うと最も安定します。

特に、

文章は人間が確認する  
画像比率はアプリで検査する  
絵は画像生成AIを利用する  
最終ページは人間が目視する

という役割分担にすると、WEB漫画やInstagram漫画をかなり再現性高く制作できます。